



唐人瓦小房
 丁也
 山崎
 一





唐人三小言
第一丁也

三丁也

三丁也

三丁也

白鷺のこゝろ

白鷺のこゝろ

白鷺のこゝろ

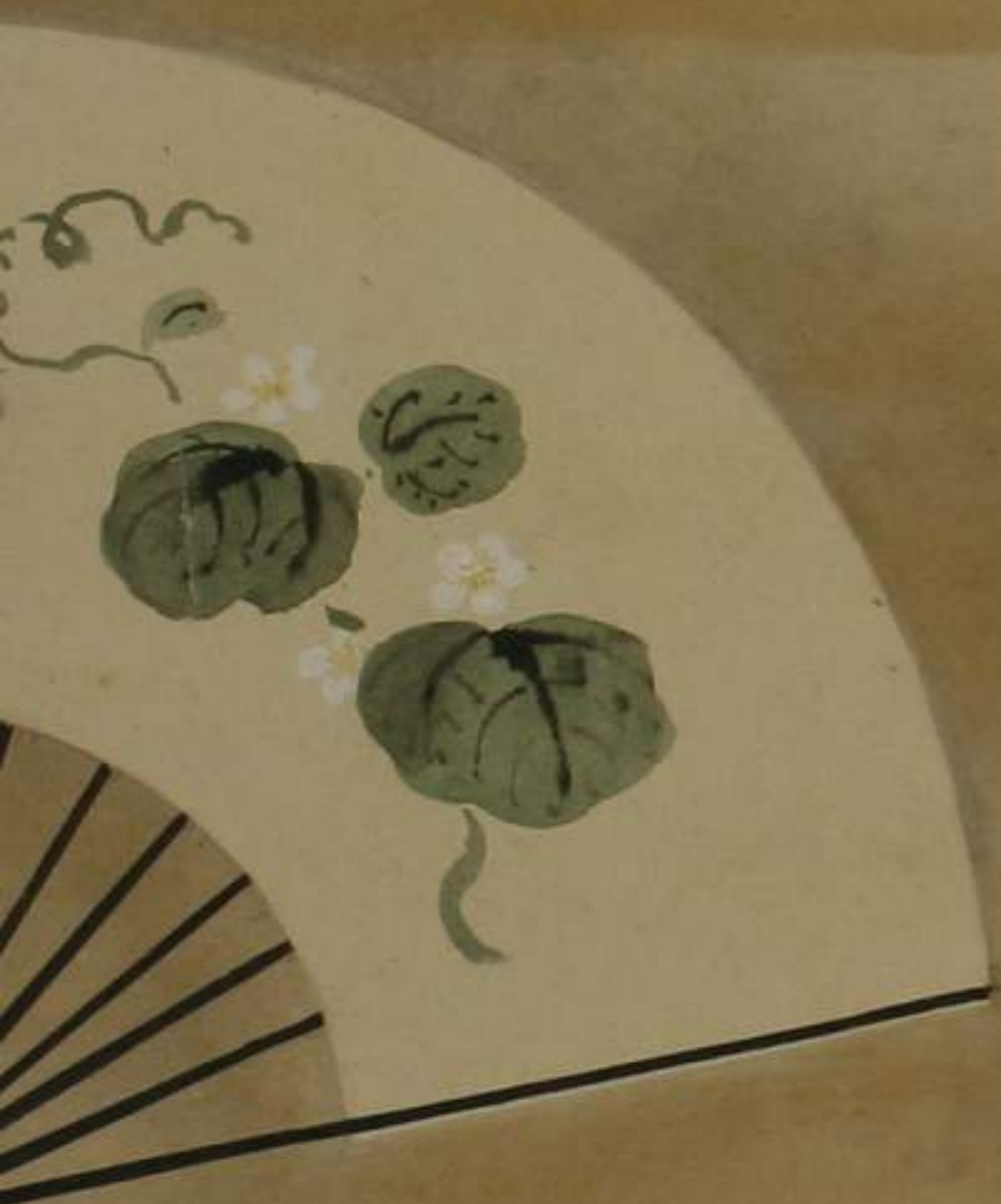
三つの子

三つの子

巾着

三つの子

夕顔の花



白鷄乃いさる
富古の河いさる

三乃のいさる
るいさる
巾扇
六まのいさる
夕顔の花



何ゆへにを雲條乃出る
柳にやいさるいさる



何ゆへに身を雲霧乃出づる哉
 柳に似ては風をしのぐはれ

へんりて身

なるて身

こころ

けしき

青柳

けしき

花ちり

梅

の

けしき

けしき



或人の書きよき九月十三夜
琴をいそぐ人のいそぐ
いそぐ

音にきこし

いそぐ

緒の十
三夜

月毛三
いそぐ
いそぐ
いそぐ

茶卓子に密柑と杏仁に
 黒豆をゆしてけ三分をよ
 頭とあわせしめ

たい巻三川

かん子

きへいり

山木郎

あんま

子ハ
 くろく
 下丸



わが河原を
 薔薇とちげ
 け坊ひきき
 今更花を
 やりさる

わさ、河原を
番敷とちげ
り坊じつらき
今更花を
ありまら



黒胡麻餅を
出さず
ありまら

黒胡麻餅を
出さるる候へ
ありませう

お菓子に黒胡麻の餅を
出さるる候へ



黒胡麻餅を
出さるる候へ

お菓子に
黒胡麻の餅を
出さるる候へ

芝乃三田子て鳥鷺を
 尺きりて死す也

尺よえくろ

三田乃

くちちり

はきかひ

たきくろ

あたくろ

井乃



或人の言ふ人少人をよむはな
 いか部もわもこま切きり下
 あり候て年つゝ難たの世
 あり候て年つゝ難たの世
 あり候て年つゝ難たの世





或人の言ふ人少人をわらふは
 いかんやわあつと切きり
 おり候て年つゝ誰か
 いかんやわあつと切きり
 まつたかたのたのしみ
 回文はなわらふは
 いかんやわあつと切きり
 いかんやわあつと切きり
 いかんやわあつと切きり
 いかんやわあつと切きり



いかんやわあつと切きり
 いかんやわあつと切きり
 いかんやわあつと切きり
 いかんやわあつと切きり
 いかんやわあつと切きり

林和請のしよを
 いかんやわあつと切きり
 いかんやわあつと切きり



我々の
名やま
ひん
花乃
アムハ
野いきり
あぐり
柄の
外



林和請のよき
うらへて梅乃
うた
うた

花乃
 外 柿の枝
 外 柿の枝



かほやくの匂は
 姉の誰の袖と
 いふもよもを
 しあはしむく



或人のまゝ人看十種を
 ぶら下り乃名をゆち入
 といふわきら

平



或人の言く人者十種を
云ふに乃名を魚を人
の人の名を

伊子

いさふあち

いさふあち

いさふあち

いさふあち

いさふあち

いさふあち

いさふあち



いさふあち
子乃乃人よあはれ
種はれゆすわと乃
節祀すよと奉り

いさふあち



此の魚は
 子乃人よあいの船剛に十
 種之れゆすやと乃船の
 夢記すよく春の心

此の魚
 此の魚

此の魚

此の魚

此の魚



石川乃二海...
 此の魚...
 此の魚...
 此の魚...
 此の魚...



石川乃二海... 惟馬樂... 袋を女... 今宵三條乃橋...

有... 有... 有...

三條乃橋...



月十又... 海... 唐人... 月...

八月十八日の月を三まはれ舟中
 へて好むらんはれおちも好む
 海をうらむらんはれおちも好む
 唐人多しはれおちも好む
 ちやと好むらんはれおちも好む
 月くまわらんはれおちも好む

あんならむ
 ついでん
 まるいづの
 たいりや月

又ろ乃好のくも
 酒ささすはれおちも好む

あんならむ
 ついでん
 まるいづの
 たいりや月
 酒ささすはれおちも好む
 又ろ乃好のくも



あんならむ
 ついでん
 まるいづの
 たいりや月

あんならむ
 ついでん
 まるいづの
 たいりや月
 酒ささすはれおちも好む
 又ろ乃好のくも

あんならむ

山陰の風景を写す
此の山陰の風景は
山陰の風景を写す
此の山陰の風景は

初春の山陰の風景
山陰の風景を写す
此の山陰の風景は
山陰の風景を写す
此の山陰の風景は

山陰の風景を写す
此の山陰の風景は
山陰の風景を写す
此の山陰の風景は



山陰の風景を写す
此の山陰の風景は
山陰の風景を写す
此の山陰の風景は



水たぎひもあはれ男はさくら葉平の
たぐひのわらふはるかに今かぎり
まほのなるも木はあまの源たぎ
いかにあはれこころのまはるい
あはれはあはれこころのまはるい
あはれこころのまはるい

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



はるかにあはれ富貴こころのまはるい
たぐひはあはれもあはれ

ま
な
り
の
清

花はよきものも三草はれ

花はよきものも三草はれ



くさかきんふいよは三人の
少人花は紅紫乃ほく木枝
をのりし一耀さけも。武人
け三人乃名をいぢりし奇
よ装といぬ

くさかきんふいと伴ふ三人の
 少人花火紅紫乃ほく由枝
 をのりて躍りしるも武人
 け三人乃名をいふ人奇
 よ次といぬ

花の芳野

紅紫乃

立田小倉

か

むふい

乃

君乃

松也



道に遊泥乃中へ乗出く漏下
 不備と花の君子乃の持杖
 ひとくをさる出きるや可たに可



蓮の泥乃中より葉出く漏下

不ほよたのさきゆのてんてん

ひんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

竹まわし

よきよき

おれおれ

なれなれ

おれおれ

おれ



てんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてん

鶏の伊勢

てんてんてん



鶏の鳴き声

鶏の鳴き声

たけのこ

たけのこ

たけのこ

鶏の鳴き声
たけのこ
たけのこ

鶏の鳴き声

たけのこ

たけのこ

たけのこ

たけのこ



津入國の

鶏の鳴き声

たけのこ

たけのこ

たけのこ



津入國の

難波

入江

乃

乃

乃



繪入江奇

特 別
^9
4510
2 止